

支え合いの地域づくり推進委員会について

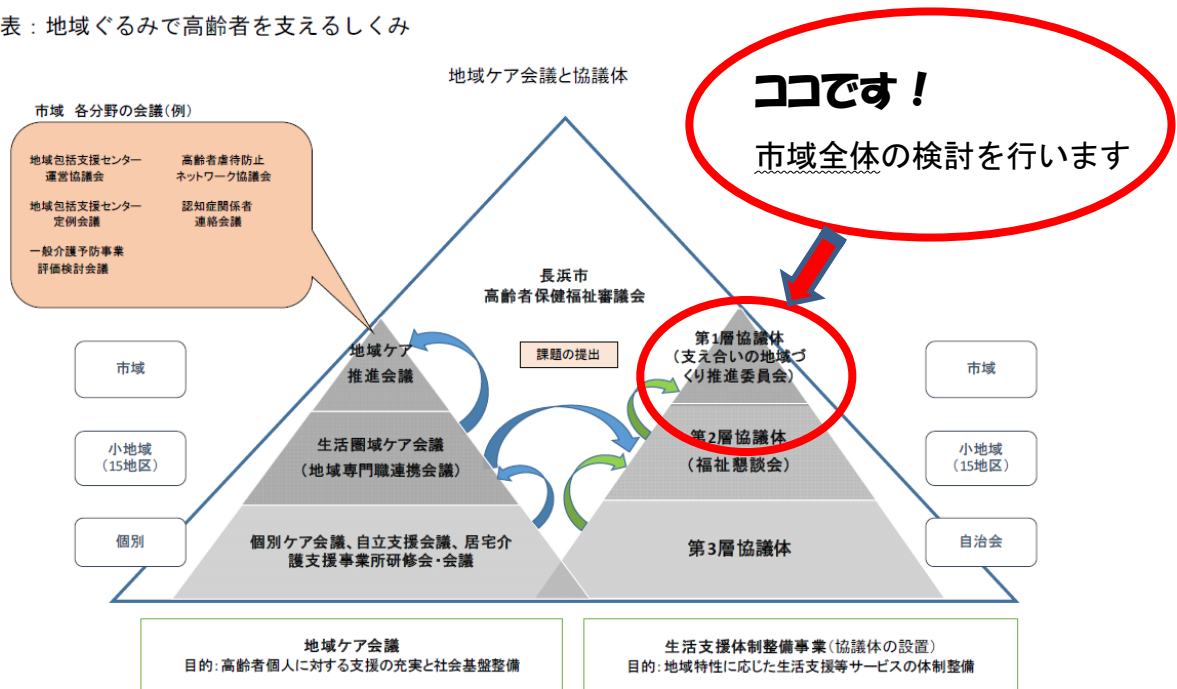
支え合いの地域づくり推進委員会とは

単身あるいは高齢者のみの世帯が増加し、日常の生活支援を必要とする高齢者が増加するなか、地域住民団体やボランティア、NPO等多様な主体による、地域における自立した生活を支援する取組を把握・整理し、また既存の地域資源では対応できていない生活支援ニーズを特定し、資源開発を行うことが重要とされています。

そのため、第3層協議体（自治会単位）、あるいは第2層協議体（市内15地区社会福祉協議会単位）の取組状況や成果、課題等をすいあげ、共有し市全域全体への横展開を図る、あるいは課題解決に向けて連携強化を図ることを目的とします。

また、これらの取組を介護保険制度の介護予防・日常生活支援総合事業と関連付けた効果的な地域の支え合い体制づくりを検討していく場でもあります。

■図表：地域ぐるみで高齢者を支えるしくみ



◎令和6年度開催状況

- ・第1回支え合いの地域づくり推進委員会

日時 令和6年7月19日(金) 午前10時30分から

場所 西黒田まちづくりセンター

次第・支え合いの地域づくり推進委員会とは(第1層協議体の説明)

- ・令和5年度 一般介護予防事業実績報告
- ・第3期 地域福祉活動計画について
- ・令和5年度 生活支援体制整備事業実績報告
- ・西黒田きんたろうサポート会の活動紹介

・ グループワーク「移動支援」について

- ① 既存の生活支援ボランティア団体の支援を継続するためにできること
- ② 地域に新たな「移動支援」の資源を創出するためには

《委員会でのご意見》

- ・ 移動販売の活動が行われているある地域では利用者の方から大変助かっているという声をきいている。移動販売車の停留所には地域で購入したベンチを設置し、利用者の交流の場となっている。
- ・ 生活支援ボランティアだけでなく、地域で継続した活動をしていただくためには、後継者が必要だが、世代によって考え方が異なるので、その世代を意識した声かけや働きかけ、助け合いが必要。
- ・ 生活支援ボランティア団体の支援の案内を紙面で配布されているが、スマホ教室など高齢者のデジタル化の推進と合わせて、周知方法の検討も必要である。
- ・ 移動支援で使用する車両を長浜市社会福祉協議会で借りて支援されている団体もあるが、気軽に使用できる車両があればより活動しやすくなると思う。
- ・ 継続した活動には、今、活動されている人がやらされているではなく、楽しく取り組んでもらうことが大切であり、やりがいや責任をもっていただく活動内容が継続につながる。

◎令和6年度 第2回支え合いの地域づくり推進委員会開催予定

- ・ 詳細は後日改めて周知予定